

建交労大阪府本部

大阪労連第50回評議員会

大阪労連第50回評議員会は、6月1日(土)午前10時からソフィア堺において、開催されました。大阪労連幹事会を代表して菅議長があいさつされ、「大阪府知事・大阪市長選挙は残念な結果になりましたが、評議員会後に堺市長選挙の支援があります。このたまたかいで堺労連が支援する候補を、我々大阪労連としても支援すると同時に、堺に維新政治を持ち込ませない事が重要である。そのためにも最終最後の日まで全力で選挙支援行動に取り組み」また、「安倍首相は憲法改憲を諦めていません。3,000万人署名の取り組みを引き続き行い、憲法改憲を許さないたたかいをすすめていく。」という力強いあいさつでした。評議員会での議案は、すべて満場一致で確認決定されました。

討論では、建交労・山本副委員長が討論に参加し、「春闘闘争の総括・憲法改憲阻止・消費税増税に反対、堺市長選挙で維新政治を堺に持ち込ませないたたかいについて、アクアライン職場のたたかい

について」発言されました。第50回評議員会全体の参加者は、112名、評議員78名中65名の参加、建交労大阪府本部からは、幹事2名(前村執行委員長、萩田書記長)、評議員1名(山本副執行委員長)の参加でした。



2019年春闘総括

2019年国民春闘のたたかいについて
(1) 2019年春闘の対策と

具体的推進について
① 安倍政権の暴走政治と国政の私物化を阻止するとともに、大企業の莫大な内部留保を社会的に還元させ、労働者・国民の状態悪化を改善することが春闘での重要な課題の一つでありました。

また、労使一体化をすすめる連合大手組合が、大企業の「総額人件費管理」の攻撃に呼応し、雇用と賃金破壊に手を貸かして

いることも克服しなければならぬ課題です。そのためには、対話と共同を基本に一致する要求での団結を強化し、国民春闘を職場、地域、業種から推進することを確認してきましましたが、十分な力を発揮出来ませんでした。

② とくに重視する活動として、要求アンケート活動を基本にした対話活動を強化すること。要求に基づく共同を強め企業内闘争を克服し、地域や産

業内闘争を克服し、地域や産

業内闘争を克服し、地域や産

別に結集し、全国的なたたかいとして展開していくことを進めてきました。建交労と地域労連へ結集してたたかいを強化した、大阪合同支部のアクアラインでしたが実質的な前進とはなりません。今後はさらに取り組みの強化をはかり、要求前進の足がかりにしていく。

② 月間・集中ゾーンの設定と期間中のとりくみ
① 2019年春の組合員拡大月間は、3月1日(木)～3月9日(土)として展開してきました。

③ 拡大目標と組織化の対象(個人対象者、対象職場、対象地域、対象未加盟労組など)を明確にするために担当者配置し、拡大対象者と到達状況を日常的に把握することを確認してきました。

④ 組織化の対象に対する作戦・計画・行動配置などを決めてきました。

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

⑥ 大阪府本部は、3月7日(日)～9日の3日間を宣伝カーで大阪府下のトラック・生コン・酸素などの職場激励と組織拡大のスポット宣伝を行いました。宣伝行動は、運転手1名、弁士1名、合計2名でおこなうことを確認して運行しました。

「組織拡大宣伝をおこなった場所」
●南港、北港、東大阪、トラクタターミナル、北大阪トラクタターミナル、堺東駅茨木、高槻、吹田、箕面

③ 産業別妥結状況
産業別の妥結額は、製造業の妥結額平均が6,312円、非製造業の妥結平均額が6,053円と製造業が非製造業より高い妥結額となっています。なお、全体平均(6,201円)と比べて妥結額が高かった業種は「情報通信業(8,885円)」、「化学(8,767円)」、「化粧品(8,767円)」などとなりました。一方、低かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業(3,800円)」、「運輸業・郵便業(4,011円)」などとなりました。

④ 企業規模別の妥結状況

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

⑥ 大阪府本部は、3月7日(日)～9日の3日間を宣伝カーで大阪府下のトラック・生コン・酸素などの職場激励と組織拡大のスポット宣伝を行いました。宣伝行動は、運転手1名、弁士1名、合計2名でおこなうことを確認して運行しました。

③ 産業別妥結状況
産業別の妥結額は、製造業の妥結額平均が6,312円、非製造業の妥結平均額が6,053円と製造業が非製造業より高い妥結額となっています。なお、全体平均(6,201円)と比べて妥結額が高かった業種は「情報通信業(8,885円)」、「化学(8,767円)」、「化粧品(8,767円)」などとなりました。一方、低かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業(3,800円)」、「運輸業・郵便業(4,011円)」などとなりました。

④ 企業規模別の妥結状況

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

⑥ 大阪府本部は、3月7日(日)～9日の3日間を宣伝カーで大阪府下のトラック・生コン・酸素などの職場激励と組織拡大のスポット宣伝を行いました。宣伝行動は、運転手1名、弁士1名、合計2名でおこなうことを確認して運行しました。

③ 産業別妥結状況
産業別の妥結額は、製造業の妥結額平均が6,312円、非製造業の妥結平均額が6,053円と製造業が非製造業より高い妥結額となっています。なお、全体平均(6,201円)と比べて妥結額が高かった業種は「情報通信業(8,885円)」、「化学(8,767円)」、「化粧品(8,767円)」などとなりました。一方、低かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業(3,800円)」、「運輸業・郵便業(4,011円)」などとなりました。

④ 企業規模別の妥結状況

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

(中小)が、5.81円(対前年比...37円増、0.7%増)
「3000」が、5.99人(中堅)が、5.789円(対前年比...284円減、4.7%減)
「1,000人以上(大手)」が、6.420円(対前年比...260円増、3.9%増)

③ 産業別妥結状況
産業別の妥結額は、製造業の妥結額平均が6,312円、非製造業の妥結平均額が6,053円と製造業が非製造業より高い妥結額となっています。なお、全体平均(6,201円)と比べて妥結額が高かった業種は「情報通信業(8,885円)」、「化学(8,767円)」、「化粧品(8,767円)」などとなりました。一方、低かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業(3,800円)」、「運輸業・郵便業(4,011円)」などとなりました。

④ 企業規模別の妥結状況

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

⑥ 大阪府本部は、3月7日(日)～9日の3日間を宣伝カーで大阪府下のトラック・生コン・酸素などの職場激励と組織拡大のスポット宣伝を行いました。宣伝行動は、運転手1名、弁士1名、合計2名でおこなうことを確認して運行しました。

③ 産業別妥結状況
産業別の妥結額は、製造業の妥結額平均が6,312円、非製造業の妥結平均額が6,053円と製造業が非製造業より高い妥結額となっています。なお、全体平均(6,201円)と比べて妥結額が高かった業種は「情報通信業(8,885円)」、「化学(8,767円)」、「化粧品(8,767円)」などとなりました。一方、低かった業種は、「生活関連サービス業、娯楽業(3,800円)」、「運輸業・郵便業(4,011円)」などとなりました。

④ 企業規模別の妥結状況

⑤ 集中ゾーンの行動内容などを明確にし、参加者の配置をすすめてきました。

⑥ 大阪府本部は、3月7日(日)～9日の3日間を宣伝カーで大阪府下のトラック・生コン・酸素などの職場激励と組織拡大のスポット宣伝を行いました。宣伝行動は、運転手1名、弁士1名、合計2名でおこなうことを確認して運行しました。

大阪府本部
労働組合基礎講座学習会

労働組合基礎講座
建交労大阪府本部

2019年6月9日(日)10時から大阪労連労働事務局(西野宏一氏)を迎え、「労働組合と日常的経済要求闘争」をテーマに学習会を開催されました。①労働組合の性格にかんする経済主義的・労働組合主義的理解 ②マルクスによる賃金闘争の擁護 ③労働者階級の状態をどうと

らえるか ④日常的な経済要求闘争における労働組合と先進的労働家の任務などレベルの高い内容で今後の活動で、学習したことを、どのように活用していくのか、実践していくのかを質疑討論をおこないました。参加者は、関西ダンブ2名・大阪合同支部2名・関西支部2名・此花支部2名

阪神港海上コンテナ協会第5回定期総会
2019年6月21日(金)16時30分、神戸シーラトンホテル&タワーズで第5回定期総会を開催され、山口会長は、大阪港・神戸港ともにコンテナ取扱量は前年度を上回っているが、運転手不足が深刻な状況が継続

に於いては、大阪港の開催にあたり、道路の規制や検問などで渋滞が発生しているが、各企業が、各労働組合に協力することを求めました。参加は関西支部2名・大阪合同支部1名・兵庫合同支部3名。



自動車共済
まずはFAXで見積り!

割安な共済掛金、補償は充実!
等級別割引・割増の継承ができる!

全労連共済 お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

企業規模 (従業員数)	集計組合員数	平均賃金額 (円)	妥結額 (円)	賃上げ率 (%)
299人以下の内訳				
29人以下	13	260,379	6,171	2.37
30～99人	80	259,330	5,043	1.94
100～289人	93	267,072	5,350	2
<中小> 299人以下	186	264,970	5,281	1.99
<中堅> 300～999人	63	287,341	5,789	2.01
<大手> 1,000人以上	88	299,854	6,420	2.14
純平均	337	294,226	6,201	2.11

(4) 建交労大阪府本部春闘
関係

① 全体支部分会数69、対象職場数19職場、妥結率76.8%、回答職場数19職場、平均回答額1,200円、前年平均妥結率5.8%、前年平均妥結率より52.1円上がっています。妥結平均前年比は13.2%、6%に下がっています。しかし、回答職場数が少なく、賃上げ0円の職場も多数ありました。セメント・生コン職場については、大半の賃上げが無かったという中間結果になっていきます。大阪府本部での最高賃上げ職場は、大阪合同支部・パナルピナ分会の9,500円、昨年度実績以上の職場は、関西支部・藤井商会・カネミ統合分会、井住運送、片岡運送、大阪合同支部・小田運輸分会、北港観光バス分会、南海バス分会の6職場となっています。

前年度実績の7職場から1職場減の6職場で、全体的な賃上げ額としては増額されたものの、トラック・バス職場の賃上げが殆どであり、他の職種では一般職のパナルピナ分会のみになっていきます。建交労大阪府本部では、依然として賃上げ額は低い水準になっています。

② 春闘での結果をふり返って、この要因は大手企業と中小零細企業との2極化がますます広がり、大企業には大幅な法人税の減税と大儲けしたお金は株主配当や内部留保に積み増しされた結果、中小零細企業には殆ど還元されなかつたことが原因の一つで景気回復に繋がらなかった結果になっています。

③ 業種別春闘回答状況

業種	組織数	単位数	対象外	回答数	平均回答額
トラック	27	20	7	12	1,461
酸素	5	5	0	2	540
バス	3	3	0	3	4,200
鉄道	1	1	0	1	5,634
建設	5	2	3	0	0
セメント 生コン	15	11	4	1	500
一般	8	6	2	1	9,500

(5) 春闘における要求闘争の推進と対策での教訓と課題について

① 今年度の春闘到達点は、全国の概況とは異なり、大阪府本部集約全体としては、2018年度の賃上げ額は1,999円でしたが、2019年度は2,120円へと521円アップしました。しかし、依然として低い水準で推移しています。たまたかい全体での奮闘と前進はあるものの、国民春闘に寄せられた期待、賃上げを求める広範な世論を活かしきれず、低額回答にとどまっていることも事実です。もちろん、上積み獲得や賃上げ9,500円を獲得した組織もなく、平均額の伸びを抑える要素になっています。

② 大阪府本部は、各支部の春闘アンケート集約に基づき賃上げ交渉のたたかきすめをいく事を確認してきまされたが、アンケート内容を活かせる春闘ではありませんでした。

③ 未回答・未解決対策についての課題
イ、未回答・未解決職場では、5月末の決着をめざし、粘り強い闘いをすすめること。一方、支部では、未回答・未解決の要因を把握し、個別対策を強化することとしてきましたが、全分会での対策が取れていませんでした。特に大阪合同支部では、専従者まかせになっており、分会独自の付帯要求の提出も出来ない分会もありました。この要員は分会の力量がない事、自律出来ていない職場分会が未だに多数あることが原因の1つで大きな課題を残す状況になっています。次年度については支部役員が直接、職場に入り力量を高めていくための対策が必要であります。

ロ、5月末までの決着が出来なかった支部・分会は、職場での力関係や経営状況などを判断し、夏季一時金と結合したたたかきにするのか、春闘そのものを終結するのかなどを明確にし、次につなげる対策をすすめることにした。

④ 統一行動日のとりくみについて
イ、1月23日、大阪労連大会「春闘共闘委員会」は「怒りの総行動」を配置し、在阪の経営団体や業界団体企業への要請・抗議行動を展開しました。行動には大阪府本部の役員を中心に参加しました。

ロ、建交労中央行動が3月7日(木)に取り組みされ、各省市や業界団体への個人請願や要請行動が終日行動として展開されました。大阪府本部

からは、関西支部7名、関西合同支部3名、マスターズユニオン1名、大阪合同支部3名、大阪府本部1名、合計15名が参加しました。

ハ、2019年国民春闘における最大のヤマ場である全国統一行動は、3月14日に配置されました。全国統一行動は、春闘要求実現、憲法改憲廃止、立憲主義の回復などの要求をかかげ、全国一斉に取り組みされました。また、大阪労連・春闘共闘委員会を中心とした「大阪総行動」として3月14日(木)に取り組みされました。建交労大阪府本部は、以下の取り組みに参加しました。

- * 早朝宣伝行動(大阪労連関係・淀屋橋)
- * 西日本鉄道本部・抗議宣伝行動(JR西日本本社前)
- * 自治体及び関係団体への要請行動
- * 大阪総行動(デモ行進)
- * 天満橋駅前宣伝「働き方改革」

⑤ 学習会の取り組み
大阪府本部宣伝カーでの春闘宣伝と職場への激励訪問

⑥ 国民春闘討論集會
① 建交労中央本部・春闘討論集會11月24日(土) 25日(日) 静岡県伊豆長岡で行われました。

② 大阪労連・春闘討論集會11月24日(土) 25日(日) 兵庫県・須磨で行われました。

参加者 阪口副委員長、山本副委員長、上田書記次長

万一の病気・不慮の事故にそなえて

医療共済

1か月わずか
1,000円
(10口分) 掛金で

充実の保障

全労連共済
お申し込み・お問い合わせは各共済会へ

おすすめ セット共済

5コースから選べます

Aコース

24歳までの新入組合員にだけ

病児入院 日額3,000円
病児死亡 100万円

月掛金 900円(10歳~24歳)

10歳未満
病児死亡 100万円
不慮事故死亡 200万円
交通事故死亡 400万円

10歳以上
病児入院 日額3,000円
不慮事故入院 日額4,000円
安葬休業 日額1,500円

Bコース

64歳までの専業主婦にだけ

病児入院 日額5,000円
安葬休業 日額2,500円

月掛金 1,100円(10歳~64歳)

10歳未満
交通事故死亡 200万円
交通事故入院 日額8,000円
交通事故実通院 日額1,000円

10歳以上
病児入院 日額5,000円
不慮事故入院 日額5,000円
安葬休業 日額2,500円

Cコース

25~39歳にだけ

病児入院 日額5,000円
病児死亡 200万円

月掛金 1,800円(25歳~39歳)

10歳未満
病児死亡 200万円
不慮事故死亡 400万円
交通事故死亡 600万円

10歳以上
病児入院 日額5,000円
不慮事故入院 日額7,000円
安葬休業 日額2,500円

Dコース

パパ・ママにだけ

病児入院 日額5,000円
病児死亡 500万円

月掛金 2,800円(25歳~39歳)
月掛金 2,900円(40歳~64歳)

10歳未満
病児死亡 500万円
不慮事故死亡 1,000万円
交通事故死亡 1,100万円

10歳以上
病児入院 日額5,000円
不慮事故入院 日額10,000円
安葬休業 日額2,500円

Eコース

パパ・ママにだけ

病児入院 日額10,000円
病児死亡 1,000万円

月掛金 5,600円(25歳~39歳)
月掛金 5,800円(40歳~59歳)

10歳未満
病児死亡 1,000万円
不慮事故死亡 2,000万円
交通事故死亡 2,200万円

10歳以上
病児入院 日額10,000円
不慮事故入院 日額20,000円
安葬休業 日額5,000円

全労連共済の セット共済 できました!!

もったいなく加入したい!もったいなく使いたい!そんな声にこたえて、組合員と専業主婦のみなさんにおすすめのセット共済をつくりました!

5つのコースからライフスタイルに合ったコースを選べます

- 新入組合員にだけ
- 専業主婦にだけ
- パパ・ママにだけ

3つを組み合わせた5コースです!

火災共済 クオカード 最大5,000円分 プレゼント!!

新加入者に クオカード 最大5,000円分 プレゼント!!

- #### 当面の日程
- 6月30日(日)~7月7日(日) 2019年原水爆禁止国民平和行進
 - 7月1日(月) 大阪府労働委員会アクアライン証人調べ
 - 7月4日(木)~5日(金) 建交労第6回中央執行委員会
 - 7月10日(水) 大阪労連第9回幹事会・組織拡大交流会
 - 7月11日(木) 大阪トラック部会組織拡大宣伝行動
 - 7月22日(月) 大阪建設関連部会幹事会
 - 7月26日(金) 大阪府本部第9回常任執行委員会
 - 7月30日(火) 委託労働者懇談会会議
 - 7月30日(火) 大阪トラック部会常任執行委員会
 - 8月1日(木) 全国青年部トラックキャラバン隊大阪入り
 - 8月2日(金) 全国青年部トラックキャラバン隊 核兵器廃絶宣伝
 - 8月4日(日) 大阪府本部第10回執行委員会
 - 8月5日(月) 大阪交運共闘幹事会
 - 8月7日(水)~9日(金) 2019年原水爆禁止世界大会
 - 8月8日(木) 原水協世界大会・建交労交流会IN「長崎」